

平成 30 年度第 1 回我孫子市男女共同参画審議会 会議概要

1. **会議の名称** 我孫子市男女共同参画審議会
2. **開催日時** 平成 30 年 10 月 3 日(水)午後 15 時～17 時 15 分
3. **開催場所** 我孫子市役所分館中会議室
4. **出席者（敬称略）**
(委員)皆川満寿美、齋藤美重子、柳川眞佐子、横田光夫、栗原千鶴
相馬英里、池田尚史、福島慎太郎、市之瀬啓之、中野きよみ、
山家義文、以上 11 名
(事務局)飯田秘書広報課長、小池男女共同参画室長、鈴木、大島
5. **欠席者** なし
6. **議題**
(1)平成 29 年度実施事業実績報告及び今年度事業計画について
(2)第 2 次プランの検証結果について(平成 29 年度まで)
(3)第 3 次プラン(平成 31 年度～)について
7. **傍聴人** なし
8. **会議の概要**
 - ・今年度は委員改選により新任委員が 5 人加わった。
 - ・会長・副会長の選任について、立候補者がいなかったため、事務局提案により、会長には皆川委員、副会長には齋藤委員が満場一致で選任された。
 - ・傍聴要領の決定を行い、全員異議なく事務局案が承認された。

(1)平成 29 年度実施事業実績報告及び今年度事業計画について

事務局から、全 85 事業のうち主に担当課評価の変動のあったものなどについて説明した。

<委員からの主な意見>

- ・「No.22 男女共同参画に関する相談」について、相談が増えたことにより a 評価としたとあるが、指標として相談件数を計上した方がよい。
- ・「No.32 職場における相談窓口の充実」の職場とは市役所のことか。また「No.78 育児休業・介護及び看護休暇の男性取得」「No.79 ボランティア休暇の取得促進」についても

市職員対象のもの。いずれも市役所の事業であることがはっきりわかるようにした方がよい。
・「No.13 男女共同参画に関する学習講座」は実施していないのに a 評価でよいのか。

(2) 第 2 次プランの検証結果について

事務局から、今年度終了の第 2 次プランの総括と検証結果について説明した。

<委員からの主な意見>

- ・市職員のボランティア休暇取得が増えないのは、子育て休暇と違って取りづらいのではないか。
- ・自治会の女性会長が少ないのは昔から、全国的な傾向である。女性会長の団体には補助金をつけるなど、特別な工夫でもしないと増えてこない。
- ・外国籍の人の妊娠時のサポートや子どもの学習支援事業の周知などを行っているのか。
- ・情報紙「かがやく」を公共施設以外にも置いて PR した方がよい。
- ・中学校では生徒会長も各委員会会長も全て女子である。次の世代を担う子どもたちはずでに「女性活躍」が進んでいる。大人になると女性が活躍しづらいのは、どこかで逆転現象が起こっているのか。

(3) 第 3 次プラン(平成 31 年度～)について

事務局から、次期プランの全体像と策定スケジュールについて説明した。

<委員からの主な意見>

- ・全体像だけではわかりづらい。早くプラン案を提示してほしい。
- ・これまでの取り組みとその評価を明示すること。足りなかった部分を今後どうしていくかをしっかりと書き込むように。
- ・「柔軟な見直し」は結局見直す機会を失ってしまうことになりかねない。国の計画のように5年とか、いつやるかを定めた方がよい。
- ・通常年度の審議会開催が 1 回であれば途中の見直しは無理。開催回数を3回程度に増やせないか。
- ・女性活躍推進計画と DV 防止基本計画はどのように位置づけるのか明確にしてほしい。また、どのような法律なのか、委員に説明資料を配布してほしい。

<事務局からの回答>

- ・今日のご意見について検討し、次期プラン策定に反映させていきたい。また早期に次期プラン案を提示し、メールなどでご意見をいただけるようにする。
- ・次回までにいただいた意見を反映させる。次回審議会は11月下旬で調整したい。12月にはパブリックコメントを実施する。